

中盛様

集計を忘れました。

地産地消NWの集計です。

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができているか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

- (3) 話し合った結果は、次回の協働事業を実施する際にお役立てください。

## 協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=3

| 項目         | 小項目                         | はい | いいえ | ? | 合計 |
|------------|-----------------------------|----|-----|---|----|
| I. 事業の結果   | 1. 問題発生時の体制                 | 1  |     | 2 | 8  |
|            | 2. クレームの吸い上げとフィードバック        | 2  |     | 1 |    |
|            | 3. 事業実施後の振り返り               | 3  |     |   |    |
|            | 4. 成果の達成                    |    |     | 3 |    |
|            | 5. 事業の将来展望                  | 2  |     | 1 |    |
| II. 事業の成果  | 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度   | 2  | 1   |   | 9  |
|            | 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度 | 1  |     | 2 |    |
|            | 3. 人々の自立性の向上                | 2  |     | 1 |    |
|            | 4. 新たなネットワーク                | 3  |     |   |    |
|            | 5. 地域や社会に与えたインパクト           | 1  |     | 2 |    |
| III. 実施の結果 | 1. 協働意識の醸成                  | 2  |     | 1 | 9  |
|            | 2. 協働の満足度                   | 3  |     |   |    |
|            | 3. 協働のコストの分担                | 1  | 2   |   |    |
|            | 4. 今後の協働の改善                 | 2  |     | 1 |    |
|            | 5. 結果の公開と説明責任               | 1  |     | 2 |    |

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

## 試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっていた人」が、  
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：北勢県民局農政・普及室

記入者氏名：主幹 小寺弘子

記入年月日：

協働事業の名称：

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

●意識しないで、その都度、話しあい問題を解決しました。

2. クレームの吸い上げとフィードバック

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

●地産地消セミナー等当日参加者へアンケートを実施し、次の活動に生かすようにした。

3. 事業実施後の振り返り

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 月1回の運営委員会を開催し(NPOと行政)、行事終了後は反省会をもち意見交換を行った。

4. 成果の達成

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(\*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果] H14.15は、達成

H16は、2つの目標のうち、1目標は達成したが、他は未達成

5. 事業の将来展望

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案] ①未達成の目標については、次年度も継続していくことを話しあった。運営委員に四日市市職員の参画を働きかけ、県だけでなく市町村も巻き込んでいくことになった。

②ほぼ、達成した目標については、次年度更へのための●ための講座が市の協力のもと開設(H17.7~8 鈴鹿市)

|                  |   |
|------------------|---|
| 上記「はい」<br>と答えた合計 | 3 |
|------------------|---|

## II. 事業の成果

### 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声] 別添アンケート結果(H16,H17)、H17は未調査(H17.3実施予定)

### 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声] とくに決算書が遅くなったことがあり、(支払いが次年度になったことがあり) 不満の声があった。

### 3. 人々の自立性の向上

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

### 4. 新たなネットワーク

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

### 5. 地域や社会に与えたインパクト

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響[課題解決・社会変革]を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響] 地産地消の人々の意識の醸成。関係市町村、JAとの協働(鈴鹿市)体制が少しずつだげできてきた。

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 4 |
|--------------|---|

### Ⅲ. 実施の結果

#### 1. 協働意識の醸成

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

#### 2. 協働の満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

#### 3. 協働のコストの分担

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感] 打ち合わせのための移動に要する（鈴鹿－四日市）経費

#### 4. 今後の協働の改善

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント] NPOサイドと行政サイドが事前に話しあわず運営いい会に参加していること。  
→各々のメンバーの洗い直しと協働の基本的スタンスの確立

#### 5. 結果の公開と説明責任

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 3 |
|--------------|---|

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

## 試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっていた人」が、  
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：

---

記入者氏名：森田

---

記入年月日：

---

協働事業の名称：

---

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

●体制は？だが、対応は可能と考えています。

2. クレームの吸い上げとフィードバック

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

4. 成果の達成

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(\*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果]

5. 事業の将来展望

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案] 検討中

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 2 |
|--------------|---|



## II. 事業の成果

### 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

### 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声] とくに決算書が遅くなったことがあり、(支払いが次年度になったことがあり) 不満の声があった。

### 3. 人々の自立性の向上

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

### 4. 新たなネットワーク

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

### 5. 地域や社会に与えたインパクト

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響] 地産地消の人々の意識の醸成。関係市町村、JAとの協働(鈴鹿市)体制が少しずつだげできてきた。

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 4 |
|--------------|---|

### Ⅲ. 実施の結果

#### 1. 協働意識の醸成

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

#### 2. 協働の満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

#### 3. 協働のコストの分担

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感] 打ち合わせのための移動、時間等

#### 4. 今後の協働の改善

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両方で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

#### 5. 結果の公開と説明責任

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 3 |
|--------------|---|

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

## 試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっていた人」が、  
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：地産地消ネットワークみえ・北勢

記入者氏名：海山裕之

記入年月日：平成 17 年 2 月 23 日

協働事業の名称：

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
 行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

|  |                              |                            |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

|                             |                              |                            |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

|  |                              |                            |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果]

試食メニューが大きく残るようなこともなく、事業規模としてはある程度適正規模であったと評価している。準備段階においてはNPO側の担当者に一部、多忙により作業の遅れが発生した。とくにイベントの一つの目玉商品であった試食については、他のセクションからの人員の振り分けが必要であったかもしれない。

4. 成果の達成

|                             |                              |                            |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

(\*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果]

5. 事業の将来展望

|  |                              |                            |
|--|------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> ? |
|--|------------------------------|----------------------------|

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

イベント事業は、それなりに意義は認められるもの、継続した影響を受益者に及ぼし続けるという意味では弱い。今後は、ある程度継続性のある事業も手がけて生きたいと思っている。

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 3 |
|--------------|---|

## II. 事業の成果

### 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

試食メニューに関しては概ね好評を得ており、今後ともこうしたイベント的な事業においては集客力を発揮するものと思われる。

### 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

試食における複数団体のコラボレーションは、お互いに刺激になったようで調理担当者同士が事業の後も交流を続けている。

### 3. 人々の自立性の向上

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

### 4. 新たなネットワーク

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

### 5. 地域や社会に与えたインパクト

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を実施することにより、期待された影響〔課題解決・社会変革〕を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 1 |
|--------------|---|

### Ⅲ. 実施の結果

1. **協働意識の醸成**

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. **協働の満足度**

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. **協働のコストの分担**

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]  
地産地消メニューの試食会の準備については、調理担当者が複数のお店、団体が関わったため、そのコーディネートに負担感があったが、食材の仕入れの手配において行政側のフォローが得られた。

4. **今後の協働の改善**

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. **結果の公開と説明責任**

|    |     |   |
|----|-----|---|
| はい | いいえ | ? |
|----|-----|---|

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

|              |   |
|--------------|---|
| 上記「はい」と答えた合計 | 3 |
|--------------|---|